



(1) ユニバーサル都市・福岡推進協議会の設置目的

- **みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」の実現を目指し、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、誰もが住みやすく、過ごしやすい街づくりの推進を図ること**

※ユニバーサルデザインの理念

年齢、性別や国籍、障がいの有無等を問わず、すべての人が自由に快適に利用でき、行動できるような思いやりあふれる配慮を、まちづくりやものづくりなどのあらゆる場面で、ハード・ソフトの両面から行っていこうとする考え方

(2) 今年度の主な取組み

新規

- **「ユニバーサル都市・福岡アンバサダー」による普及啓発【総務企画局】**

- ・「ユニバーサル都市・福岡」のことをより多くの市民に知っていただくために、アンバサダーを任命
- ・アンバサダーが市内のユニバーサルな場所などを取材し、その様子を動画CMや記事広告など、各世代に合わせた“最適な広報手段”で周知を展開
(例) 30～40歳代 ⇒ Youtube、Instagram、メルマガなど
60歳代～ ⇒ 新聞広告、フリーペーパー（シニア世代向け）など

- **「福岡オレンジパートナーズ」と「オレンジ人材バンク」の設立**

【保健福祉局】

- ・認知症の人がいきいきと「活躍」できる環境づくりを進めるため、産学官民オール福岡で構成する「福岡オレンジパートナーズ」を設立
- ・認知症の人と企業・団体が円滑に連携していくため、認知症の人だけが参加できる「オレンジ人材バンク」を設立（ともに6月設立）



- **重度障がい者等就労支援事業【保健福祉局】**

- ・重度障がい者等の雇用促進のため、重度障がい者等に対する通勤や職場等における支援を実施（8月事前相談開始、10月事業開始予定）

- **全区役所に「ご遺族サポート窓口」の開設【市民局】【各区役所】**

- ・身近な親族が亡くなられた後に必要となってくる、様々な手続きがスムーズに行えるように支援し、ご遺族の不安や負担を軽減できるようサポート（5月開設、中央区役所ではR元年より独自に開設済み）



新規

- **遠隔手話通訳サービスの開始【保健福祉局】**

- ・手話通訳者の同行派遣が困難な場合を想定し、スマートフォンやタブレットを使用した、遠隔手話通訳を導入（7月開始）



- **外国人支援ボランティアバンク【総務企画局】**

- ・外国人が日本人とともに、安心、安全に暮らせるよう、ボランティアによるきめ細かな個別支援や災害ボランティアの育成などを実施（4月開設）

継続

- **福岡版ユニバーサルマナー検定（講座）の実施【総務企画局】**

- ・高齢者や障がい者への接し方等について、市内の身近なユニバーサルデザインの事例を取り入れた福岡市オリジナルの講座を、全国を対象にオンラインで実施（ユニバーサルマナー検定3級取得）
(8～11月に各月1回実施、8月開催分:計100名超申込)



- **Instagram等を活用したユニバーサルデザインに関する情報発信**

【総務企画局】

- ・外国人、障がい者、LGBTなど、様々な立場の方から見える「福岡」の写真をInstagramに投稿してもらう“写真展”を開催



- **「福岡市バリアフリー基本計画」の改訂【保健福祉局】**

- ・令和3年4月に施行された国の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」を踏まえ、バリアフリー基本計画の改訂に取り組み、引き続き、ハードソフト一体となったバリアフリー化を推進していく。

- **ユニバーサルデザイン(UD)タクシーの導入促進**

【住宅都市局】

- ・高齢者や車いす利用者、来街者など誰もが利用しやすいUDタクシーの導入費用の補助を実施

補助予定 : 100台
補助上限額 : 20万円/台
補助台数(累計) : ~R2年度183台



- **ベンチプロジェクトの推進【保健福祉局】**

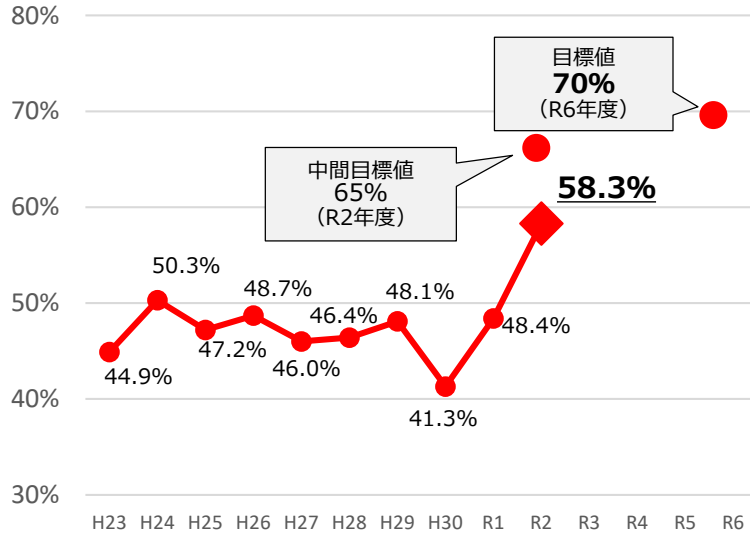
- ・誰もが外出しやすいまちを目指し、市内全域へのベンチ設置を促進（R2年度末時点 ベンチ設置数(累計) 154箇所 238基）



(3) 成果指標（第3実施計画（政策推進プラン）より）

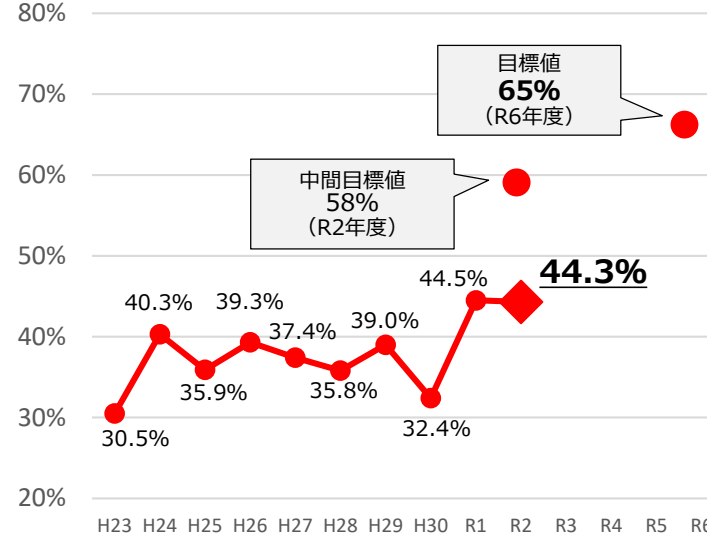
(1) ユニバーサルデザインの概念の理解度

（ユニバーサルデザインという言葉の意味を知っている市民の割合）



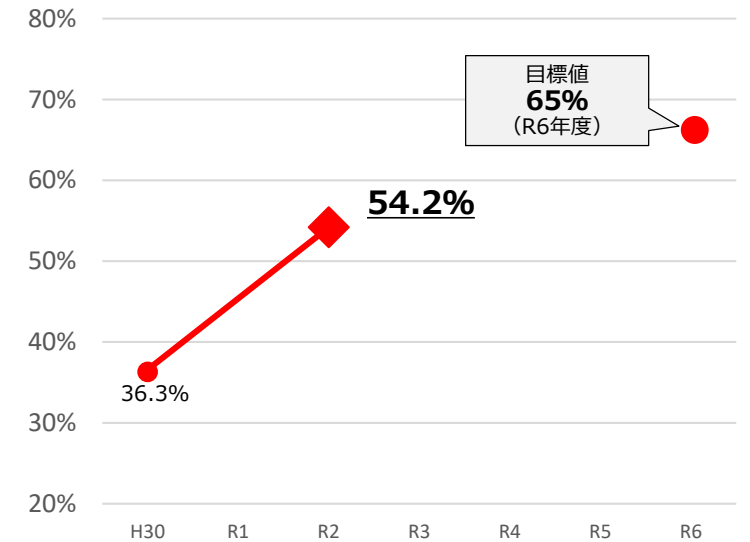
(2) ユニバーサルデザインの取り組みへの評価

（ユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思う市民の割合）



(3) 「ユニバーサル都市・福岡」のロゴマークの認知度

（「ユニバーサル都市・福岡」のロゴマークを見たことがある市民の割合）

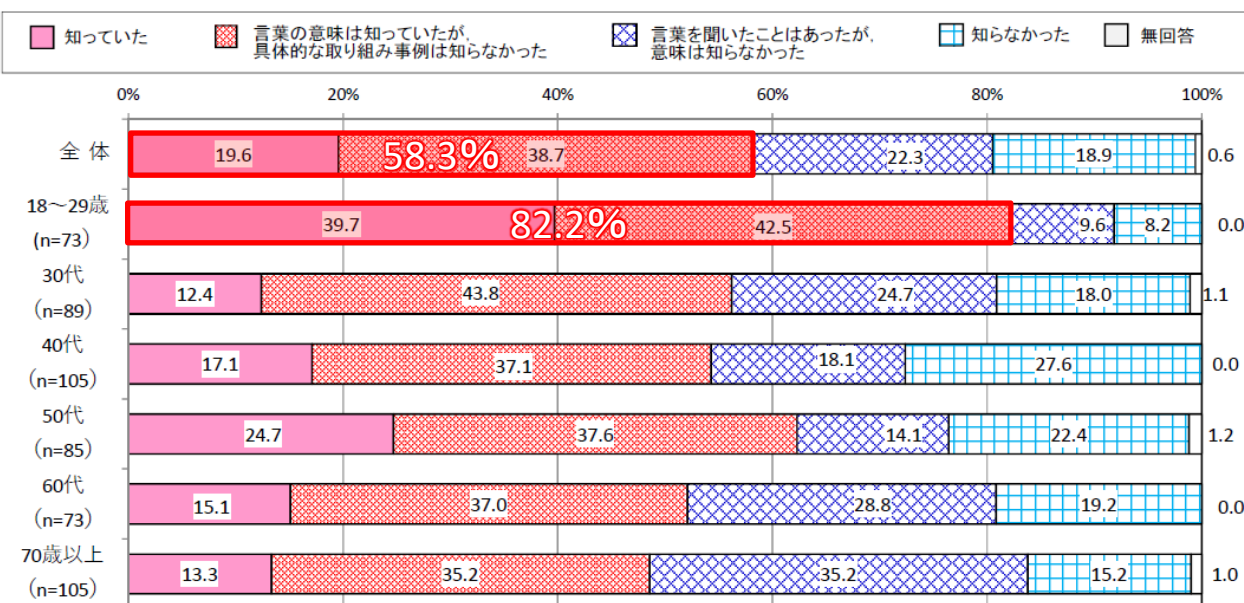


<参考> 令和2年度市政アンケート調査結果報告より抜粋

「ユニバーサル都市・福岡」について（N=530）

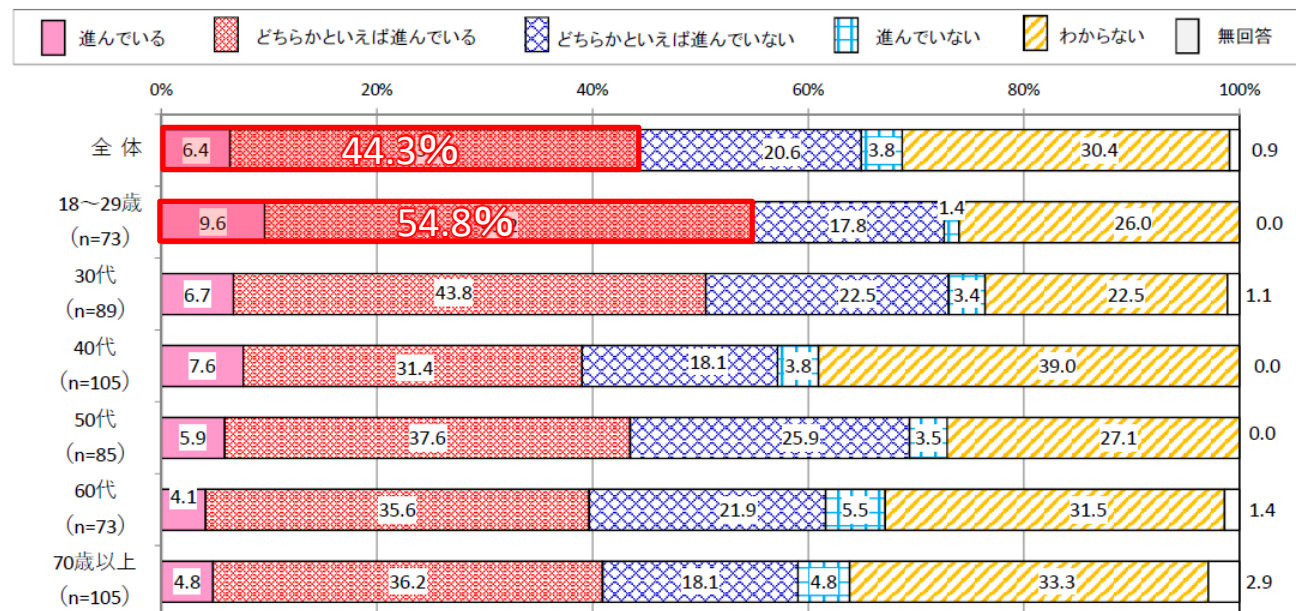
R2年度

「ユニバーサルデザインについてどの程度知っていたか」



『知っていた』と回答した方は全体の58.3%でした。年代別にみると18～29歳で最も高く、82.2%となりました。

「福岡市はユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思うか」



『進んでいる』と回答した方は全体の44.3%でした。年代別にみると18～29歳で最も高く、54.8%となりました。